



© UN Photo / Kibae Park

6 安全な水とトイレ を世界中に



安全な水とトイレの 普及はなぜ大切か

目標の内容は何ですか。

すべての人が安全な水源と衛生施設を利用できるようにすることです。

なぜ、この目標が設定されたのですか。

水やトイレなどの衛生施設を利用できることは、人権のひとつですが、数十億人が依然として、最も基本的なサービスの利用にも日常的な課題を抱えています。

全世界で約 18 億人が、糞便によって汚染された飲料水源を利用しています。トイレや公衆便所など、基本的な衛生施設を利用できない人々も約 24 億人を数えま

す。世界人口の 40%を超える人々が、水不足の影響を受けていますが、この割合はさらに増えると予測されています。人間の活動に起因する廃水の 80%以上は、まったく処理されないまま川や海に排出され、汚染を引き起こしています。

この目標にはどのような効果がありますか。

水と衛生に関連する疾病は今でも、5 歳未満児の大きな死因となっています。劣悪な衛生状態に伴う下痢性疾患で命を失う子どもは、1 日 800 人を超えています。

安全な水と衛生施設は、健康と

世界人口の
10 人に 3 人
が、**安全に**
管理された
飲料水サービス
を利用できて
いません。

ジェンダーの平等をはじめ、持続可能な開発目標を達成するための重要な基盤となります。

水資源を持続可能な形で管理すれば、私たちは食料やエネルギーの生産管理を改善し、ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)や経済成長にも貢献できるようになります。さらに、水の生態系とその多様性を保全し、気候変動への対策を講じられるようにもなります。

問題の是正には、どれだけのコストがかかりますか。

世界銀行グループ、国連児童基金 (UNICEF)、世界保健機関 (WHO)による共同調査によると、基本的な水道・衛生サービスを未供給の人々に普及するためには、2015年から2030年にかけて毎年284億米ドルが必要になると見られますが、これは調査対象となった140カ国のGDP全体の0.10%に相当します。

問題を是正しなければ、どれだけのコストがかかりますか。

人間にとっても、経済にとっても、膨大なコストが生じます。

世界中で毎年200万人以上が、下痢性疾患で命を失っています。劣悪な衛生状態と安全でない水がその原因の90%近くを占めていて、死者のほとんどは子どもです。

水と衛生に投資しないことによる経済的な影響は、サハラ以南アフリカ全体のGDPの4.3%に上りま

す。世界銀行は、経済的な悪影響と衛生施設の不備に伴うコストにより、インドのGDPの6.4%が失われていると見ています。

インフラを整備し、管理を改善しない限り、毎年数百万人が命を失う状況が続くだけでなく、生物多様性と生態系のレジリエンスはさらに失われて、豊かさ、より持続可能な未来を目指すための取り組みは、根底から損なわれることとなります。

私たちには何ができるのですか。

市民社会団体は、各国政府の責任を問い続け、水関連の研究開発に投資し、水資源のガバナンスへの女性、若者、先住民コミュニティの包摂を促進すべきです。

こうした役割に対する意識を高め、これを行動に変えれば、ウィンウィンの関係が生まれ、人間と生態系の持続可能性と完全性がともに向上することでしょう。

また、衛生問題について行動を起こすための情報を提供し、インスピレーションを与えることを目的とする「世界水の日」と「世界トイレデー」のキャンペーンに参加することもできます。

目標6をはじめ、持続可能な開発目標についてさらに詳しくは、こちらをご覧ください。

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

改訂版・日本語訳：国連広報センター
(2019年3月)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD